

地域医療連携だより

かまんざ

副院長、新任部長が
新たに就任しました

② 副院長就任あいさつ

副院長 第1麻酔科部長 平田 学

③ Red Crossニュース

スクラムを組む医療従事者たちVol.8 泌尿器科

④ 新任部長就任あいさつ

外科 第3外科部長 谷口 史洋／眼科 部長 小嶋 健太郎／

皮膚科 部長 曾我 富士子／呼吸器内科 部長 塩津 伸介／

気管食道外科 部長 安田 誠／麻酔科 第2麻酔科部長 望月 則孝

⑥ トピックス、お知らせ

当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係



075-212-6186

平日 8:30～19:30
土曜日 9:00～13:00



先生方からお預かりした大切な患者さんが
安全に周術期を乗り越えられるように
努力いたします

所属学会
認定資格

- 日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医
- 日本集中治療医学会 専門医
- 日本救急医学会救急科 専門医
- 日本急性血液浄化学会 認定指導者
- 麻酔科標榜医

副院長
第1麻酔科部長

ひらた まなぶ

平田 学

副院長に就任しました平田 学と申します。

2013年9月から京都第一赤十字病院麻酔科部長を務めておりましたが、2016年4月に当院に着任しました。麻酔科を専門とする前は数年、消化器内科を専攻していました。

当院での主たる業績は、周囲のスタッフに支えられ、麻酔科管理件数を600件以上増加させたことと自負しています。今後は現状に加え、手術室外での活動に重点を置きたいと考えています。特に周術期（術前の評価や疼痛管理など）は、強化すべき領域であり、医療安全と患者サービスの観点からも極めて重要と考えています。私たち麻酔科医は、協力施設の先生方の目からはあまり目立たない存在かとは思いま

すが、先生方からお預かりした大切な患者さんが、安全に周術期を乗り越え、再び先生方の所へ安心して戻られるためには、私たちのより一層の努力が必要であることを強く自覚し、肝に銘じています。

私は手術室管理とともに、医療安全と医療情報を担っています。前者は患者安全の視点から、後者はますます進むであろう医療DXの観点から、病診・病病の連携が鍵になると考えています。まったくの未熟者で、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、末永くご指導・ご鞭撻をいただきましたら幸甚でございます。よろしく願いいたします。

当科の特徴

第一線の病院として患者さんに安全で最新の医療を提供することを心がけています。泌尿器科全般を扱っていますが、その中でもがん（前立腺がん、膀胱がん、腎がん、腎盂尿管がん）と前立腺肥大症に対する最新の取り組みをご紹介します。



写真中央：邵 仁哲部長 左から2番目：山田 剛司副部長

前立腺がんの診断

2022年7月に導入した前立腺がんの診断から治療までをサポートするシステムとして開発された汎用超音波画像診断装置である、KOELIS社トリニティ（以下、トリニティ）をご紹介します。

トリニティを用いた前立腺生検の利点
正確なターゲット生検が可能

トリニティは事前に撮像されたMRI画像に、3Dの超音波画像をコンピューターでリアルタイムに融合させることにより、MRIと超音波の3D融合画像を作ることができる装置です。この3D融合画像にがんが疑われる場所を映すことで、どこをターゲットとして生検すればよいか鮮明に分かるようになります。しかも、トリニティは生検部位の記録を3D画像で正確に残すことが可能なため、ターゲットを外した場合でもやり直すことができるようになりました。ターゲット部位を正確に捉えるまで複数回試行できるというのが、特に優れた特徴で、がんの検出率を上げるのに役立っています。

低侵襲手術支援ロボット
da Vinci Xi (ダヴィンチXi) を用いた
泌尿器科領域手術

現在、当科で実施可能なロボット支援下手術は、前立腺悪性腫瘍手術・腎悪性腫瘍手術・膀胱悪性腫瘍手術・腎盂尿管悪性腫瘍手術・腎盂形成手術などで、泌尿器科の悪性腫瘍領域の大部分をカバーしています。

ダヴィンチXiを用いて手術を行うことのメリットとして、以前の開腹手術と比べて短い入院期間で、出血量も少なく抑えることができ、前立腺がん術後の尿失禁などの合併症もかなり軽減させることができるなど非常に優れた手術法です。患者さんに対してできる限り安全で身体的負担の少ない低侵襲な手術を推奨しており、術後のQOLの良い治療を行うことを目標としています。

膀胱がんに対する光線力学診断
(photodynamic diagnosis: PDD) を用いた
経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT) の導入

2023年から筋層非浸潤膀胱がん治療の一つとして、新しくPDDを用いた経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を開始しました。従来の治療では、白色光を当てて、腫瘍部分を切除していましたが、PDDを用いた場合には、特殊な光を当てることにより、正常組織とがん組織を可視化することができます。これにより、再発率が高い膀胱がんの腫瘍を正確に削ることができるようになります。

現在、筋層非浸潤膀胱がん治療の選択肢の一つとして、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を用いています。この手術は内視鏡で実施でき、患者さんの身体的負担軽減がメリットとしてありますが、一方で膀胱腫瘍は、多中心性で複数箇所を目視できない腫瘍が残存してしまうことがあり、再発率が非常に高い疾患という側面もあります。

そこで、できる限り再発を抑えるための手段として、当科では光線力学診断(PDD)を用いたTUR-BTを開始しました。この治療は、従来のTUR-BTでは視覚的に確認できなかった膀胱内の腫瘍を特殊な光線を当てることによって正常組織とがん組織を区別することができ、がんの検出率向上およびがんの再発低下に貢献することができます。

患者さんの身体的負担をできる限り軽減し、より良い治療を安心・安全に実施してまいりますので、気軽に当科までご相談ください。

前立腺肥大症

前立腺肥大症に対しては内服治療を行い効果が十分でなければ手術を行います。手術は前立腺肥大症への最先端の低侵襲手術として接触式前立腺レーザー治療(蒸散術:CVP)を2018年7月より導入しました。

CVP(Contact laser Vaporization of the Prostate)は、前立腺の肥大組織に高熱を与え、組織中の水分や血液を一瞬で沸点に到達させて蒸発させ、組織を消失させてしまうという画期的な手術方法です。

従来の前立腺肥大症手術と同等の効果が期待できる上に、出血は確実に減少させることのできる、より安全性の高い手術と言えます。

手術時間や入院期間の短縮により早期の社会復帰が可能で、一番大きな特徴が抗凝固薬の休薬が不要なことが挙げられ、合併症の軽減など複数の利点があり、近隣の先生方より多数の患者さんを手術目的で紹介いただいています。



第3外科部長 谷口 史洋



たにぐち
ふみひろ

肝胆膵領域の高難度外科手術への 取り組みやロボット支援下手術など 低侵襲手術を導入していきます

2024年4月より、第3外科部長を拝命しました。3月まで京都第一赤十字病院で肝胆膵領域において高度技能指導医として外科治療に携わっていました。当科でも、引き続き肝胆膵領域を中心に診療してまいります。肝胆膵領域は、手術療法だけでなく、薬物療法、放射線療法などを用いた集学的治療により高度進行がんの治療成績が向上しています。多種職で密にカンファレンスを行い、ガイドラインに準じた治療を選択し、患者さんのADLをできるだけ低下させずに安心・安全な治療を提供させていただきます。引き続きご指導のほどお願いいたします。

第3外科

所属学会
認定資格

- 日本外科学会 外科専門医・指導医
- 日本肝胆膵外科学会 評議員・高度技能指導医
- 日本消化器外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 無期限
- 日本胆道学会・日本膵臓学会 認定指導医

網膜硝子体疾患に対して 低侵襲手術で対応しています

2024年4月より部長として赴任した小嶋です。京都府立医科大学附属病院にて約10年間、網膜硝子体疾患を専門に多数の硝子体手術の執刀および指導を行ってきました。サージカル領域では網膜剥離、網膜前膜(黄斑上膜)、黄斑円孔、増殖糖尿病網膜症や外傷に至るまで、27ゲージでの極小切開硝子体手術を含めた低侵襲手術を行っています。メディカル領域では加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞症、糖尿病黄斑浮腫、病的近視に伴う脈絡膜新生血管などの疾患に対して抗血管内皮増殖因子(VEGF)治療を積極的に行っています。お困りの患者さんがいらっしゃいましたらどうぞご紹介ください。

眼科部長 小嶋 健太郎



こじま
けんたろう

所属学会・認定資格

- 日本眼科学会 眼科専門医
- 眼科PDT講習会認定医

皮膚科部長 曾我 富士子



そが
ふじこ

幅広い症状に迅速に対応し、 最善の医療を提供できるように努めます

患者さんの状態の把握と丁寧な説明を大切に、患者さんにとって最善の医療を提供できるように心がけています。皮膚疾患は、かゆみや痛みなどの症状だけでなく、症状が目に見えるところにあらわれる苦痛があることを理解し、心優しい医療を行えるよう、スタッフ一同努めてまいります。今後ともよろしく願いたします。

皮膚科

所属学会・認定資格

- 日本皮膚科学会 専門医
- 日本アレルギー学会 専門医

呼吸器内科として各種疾患に対応します

このたび呼吸器内科に赴任いたしました塩津伸介と申します。前任地は京都第一赤十字病院で、17年ぶりに環境が変わりました。

専門は肺がん化学療法ですが、肺がんに限らず急性期病院の呼吸器内科として各種疾患に対応していますので、呼吸器疾患でお困りの患者さんがいらっしゃればぜひともご紹介ください。

肺という臓器は呼吸を通じて絶えず外界と接しています。そのため肺に起こる疾病は個人の生活習慣や職業歴、居住歴など社会的背景と深いかわりを持っており、その病態にアプローチするには全人的な関わりが不可欠であることが呼吸器病学の奥深いところであると感じています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

呼吸器内科部長 塩津 伸介

し
お
つ
し
ん
す
け



所属学会 認定資格

- 日本内科学会 認定内科医 総合内科専門医 指導医
- 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 指導医
- 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 指導医
- 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

気管食道外科部長 安田 誠

やす
だ
ま
こと



多様な患者さんに対応し 満足度の高い医療を提供します

このたび気管食道外科部長に就任しました安田誠と申します。気管食道外科といいますが、診療内容は耳鼻咽喉科と同様のものになります。耳鼻咽喉科領域は多岐にわたり、私は中でも鼻副鼻腔疾患や花粉症などのアレルギー疾患を専門に今まで診療をしてまいりました。今回このような京都市の医療の中心を担う伝統ある病院に赴任するに当たり、大変光栄であると感じるとともに身が引き締まる思いです。今後は自分の専門領域以外についても研鑽を積み、多様な患者さんに対応し満足度の高い医療が提供できるよう精進していきたいと思っております。

所属学会 認定資格

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門医・専門研修指導医
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 代議員
- 日本アレルギー学会 アレルギー専門医・指導医
- 日本鼻科学会 鼻科手術暫定指導医
- 日本鼻科学会 代議員

府内初の指定、高度救命救急センターを バックアップできる体制を強化します

4月1日、当院は京都府初の高度救命救急センターの指定を受けました。広範囲熱傷などを含めた全身麻酔下手術を必要とする重症外傷患者さんをお引き受けすることは、地域医療を担う上でとても重要なことと感じています。同様に手術を待機されている患者さんには、今まで以上に安全・快適に周術期

(=手術およびその前後)を過ごしていただいたうえで地域の先生にお返しできるようにチーム医療を一層強化していくことも大切な任務と思っています。

今後は術前のPFM (Patient Flow Management)フローをさらに充実させ、昨年立ち上げました術後疼痛管理チーム(APS)を拡充していく予定です。

第2麻酔科部長 望月 則孝

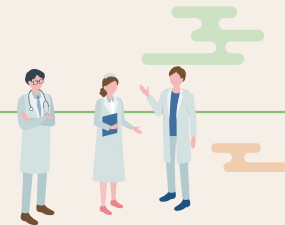
もちづき のりたか

所属学会・認定資格

- 日本麻酔科学会 麻酔科指導医
- 日本麻酔科学会・日本専門医機構 麻酔科専門医・認定医

症例検討会を実施しました

2024年1月20日(土)第2回中京西部・東部医師会合同症例検討会、2月17日(土)に第3回右京医師会合同症例検討会を開催しました。多くのご参加ありがとうございました。



第2回中京西部・東部医師会合同症例検討会



- 「偶発的に発見された胃壁内膿瘍に対してEUS-FNAで診断と治療を行った一例」
消化器内科 小田 晋也
- 「がん患者に生じた脳梗塞の一例」
脳神経内科部長／脳卒中センター長 永金 義成
- 「亜鉛製剤を背景とした銅欠乏症による血球減少」
血液内科 中山 藍

第3回右京医師会合同症例検討会



- 「2023 GOLD レポートを踏まえたCOPD診療」
呼吸器内科医長 吉村 彰紘
- 「転倒を繰り返すパーキンソニズムの1例」
脳神経内科部長／脳卒中センター長 永金 義成
- 「ペースメーカー植込みの最近の動向」
循環器内科医長 瀧上 雅雄

お知らせ

◆ 病病・病診連携懇話会を開催します

今年度の病病・病診連携懇話会を下記日程で開催します。当院の各診療部長、副部長が他病院や開業医の先生方とお話をする時間を設けています。

日時 2024年7月18日(木) 15:00~17:00

場所 ホテルオークラ京都4階「暁雲」

◆ 救命救急センター
地域連携フォーラムを開催予定です

詳細は決まり次第お知らせします。

◆ Web予約システムを
導入予定です

京都府立医科大学附属病院、京都第一赤十字病院と当院の3病院合同で導入に向けて調整中です。詳細は追ってご案内します。

地域医療連携だより

かまんざ

vol.15 2024.5

＋ 京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援室

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5

TEL 075-212-6186

FAX 075-212-6358

WEB <https://www.kyoto2.jrc.or.jp>